

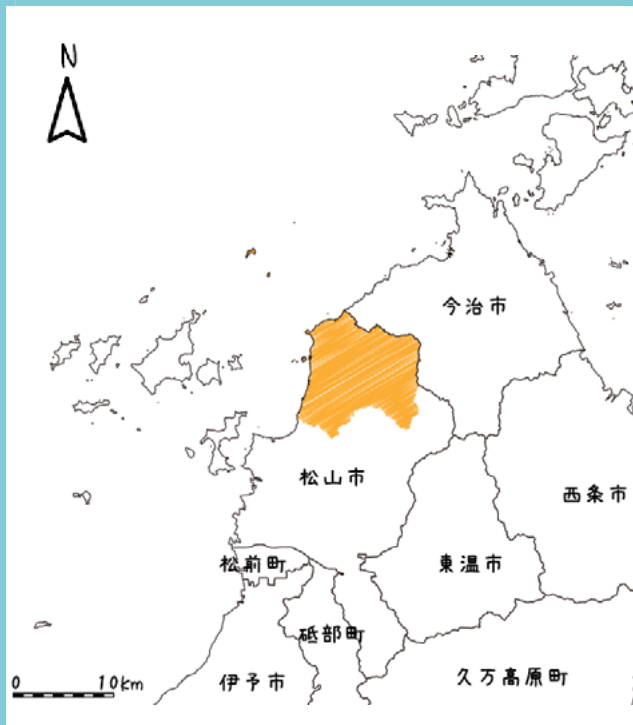
北条地域
の
すがた

2

北条地域はこんなまち

(1) 地域のかたち・気候

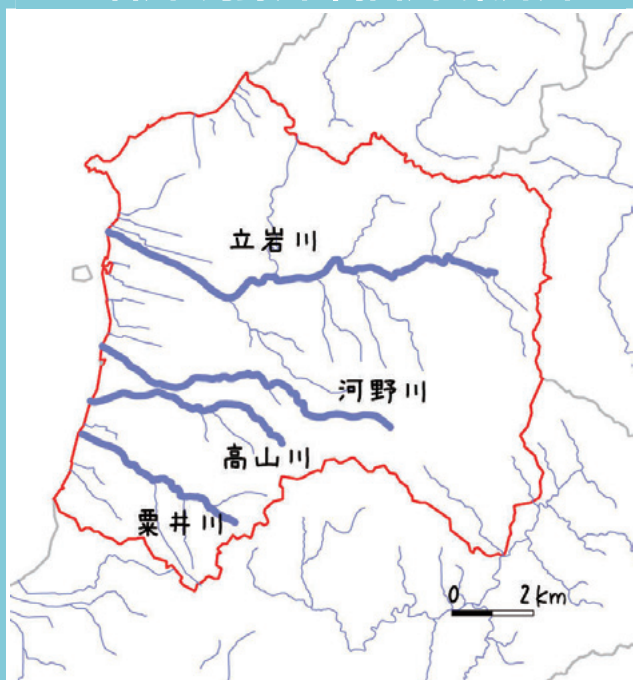
松山市の北部に位置する
102.13 km²のまち



標高 986m の高縄山を最高地点とし、
西に瀬戸内海が広がる地形



地域を代表する川
立岩川・河野川・高山川・栗井川



年間平均気温は 16℃
雨が少なく暮らしやすい温暖なまち



(2) 地域の昔ばなし

『風早』の由来

北条地域は古くより「風早」と呼ばれていました。風早の語源は「風が早（速）い地」という説が一般的で、この地方独特の自然現象を表していると言われていています。地名のおこりは4世紀末とも言われ、現在まで変わらず風早という名称で親しまれています。

参考文献『北条市誌』（北条市誌編纂会 昭^{へんさんかい}和56年3月刊）

『河野氏』の歴史

北条地域は、中世に活躍した河野氏発祥の地です。

河野氏は水軍をひきい源平合戦で源氏方に味方したことから台頭し、伊予を治めるほどの勢力を誇りました。元寇の際、九州で河野通有が活躍し、河野氏は全国的に名を馳せました。一族は、現在の河野地区、善応寺付近を中心に、風早全域の地形をうまく利用し砦を築きます。

その後、道後に本拠地を移し、豊臣秀吉の四国統一により滅亡しますが、今も河野氏の足跡は各地区に史跡や文化として残っています。



中世における風早の城砦

(3) 地域を代表する行事

大しめ縄張り替え



風早海まつり



河野氏まつり



北条秋祭り



かいね
櫂練り



鹿の角切り



ゆみぎとう
弓祈禱



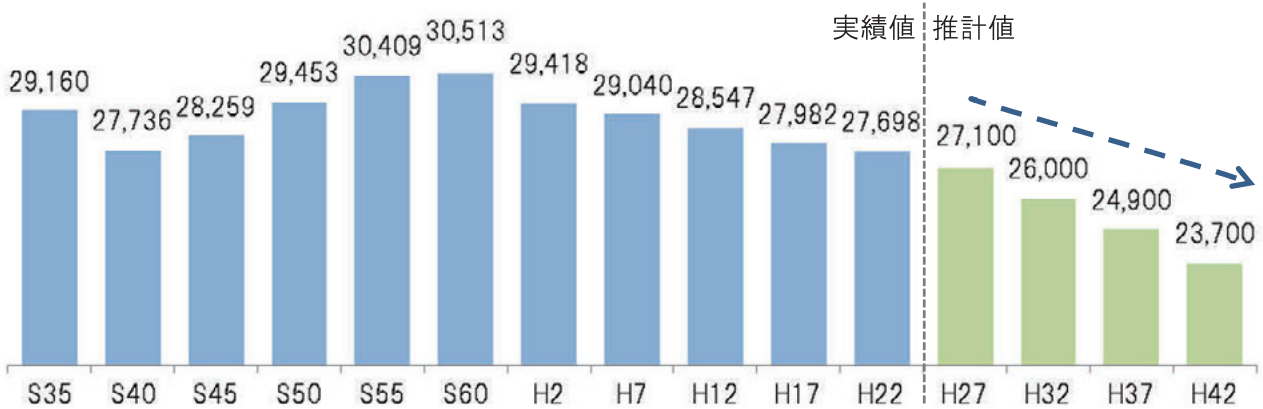
伊予万歳



(4) 数字で語るすがた

北条地域の人口は、これからどんどん少なくなっていく

＜人口の移り変わり＞



データ：H22 までは国勢調査、H27 以降は松山市推計による推計人口：単位（人）

1 世帯あたりの平均人数は 2.7 人

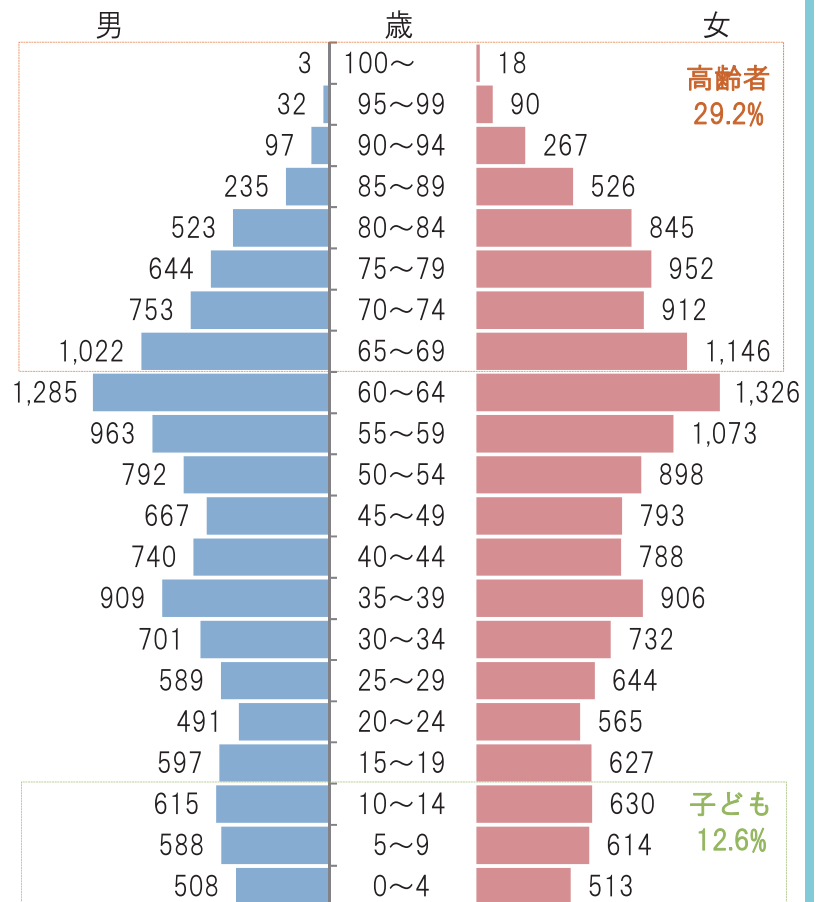
＜1 世帯の人数の移り変わり＞



データ：H22 国勢調査：単位（人）

10 人に 3 人が高齢者 10 人に 1 人が子ども

＜北条地域の人口ピラミッド＞



データ：H22 国勢調査(年齢不詳除く)：単位（人）